

平成29年度 継続被災地支援活動「福島県への継続文化支援活動」報告

【福島応援人形劇公演 Part2】

- 1) 日程 平成29年10月30日(月)～11月6日(月)  
 2) 場所 福島市・郡山市の保育園など7カ所にて人形劇公演を実施。  
 3) 参加劇団 人形劇団あっぷるばい(3名)、ラクダノセナカ(1名)、カムバックサーモン(2名)、  
 人形劇団ぼっけ(2名)、人形劇団野良犬+Plus(3名)、  
 劇場スタッフ(1名)

4) 公演記録

あっぷるばい&ラクダノセナカ&カムバックサーモン

月/日(曜)	開演時間	会場	公演プログラム	観客数
10/31(火)	16:00	いいの学童保育 福島市飯野町明治遠久内2	人形劇 「だんごころころ」 「赤ずきん」	55名
11/2(木)	10:30	郡山市北部地域子育て 支援センター 郡山市富久山町久保田字伊賀 河原44-1		94名 (子、60 大人34)

人形劇団ぼっけ

月/日(曜)	開演時間	会場	公演プログラム	観客数
10/31(火)	14:30	郡山市ニコニコこども館 キッズシアター 郡山市桑野1丁目2-3	人形劇 「だるまちゃんと てんぐちゃん」 「ねずみくんのチョコキ」 パネルシアター 「コロちゃんはどこ？」 クイズ 「とびらのむこうは なんでしょう？」	88名 (子44、 大人44)
11/1(水)	10:30	郡山市東部地域子育て 支援センター 郡山市緑ヶ丘東3丁目2-1		36名 (子16、 大人20)
	15:00	希望ヶ丘児童センター 郡山市希望ヶ丘1-19		61名 (子55、 大人6)
11/2(木)	10:00	エムポリアム保育園 郡山市並木1丁目20-14		82名 (子73、 大人9)

人形劇団野良犬+PLUS

月/日(曜)	開演時間	会場	公演プログラム	観客数
11/2(木)	10:00	チャイルドハウス うねめ保育園 郡山市富田町鶴時田6-34	背負子人形劇 「千匹オオカミ」 人形劇 「おかあさんまだかな？」	29名 (子26、 大人3)

## 5) 写真で見る公演及び調査記録

### あっぶるばい&ラクダノセナカ&カムバックサーモン

#### ①いいの学童保育



- 以前にも別の人形劇団が被災地支援活動のため訪れたことのある学童であったため、期待度が高い中での上演であったが、バラエティーに富んだ演目を楽しんでいただけた。
- 前回プレゼントしたハンドパペットを大事に使ってくれていた。今回も札幌のボランティアのお母さんたちが作ってくれたハンドパペットを手渡すととても喜んでくれた。

#### ②郡山市北部地域子育て支援センター



- 保育園と併設している施設で、子育て支援センターに来館している子に加えて、保育園のこどもたちも観劇に来てくれ、元気いっばいな声援をうけての上演となった。

## 人形劇団ぼっけ

#### ①郡山市ニコニコこども館キッズシアター



- 平日の昼間でも小さなお子さんを連れた親子連れが多くみられた。施設内には大きな滑り台や図書コーナーなどがあり、1日いても遊べるような充実した施設であった。
- 人形劇にも幼児親子さんが多く来てくれ、人形が出てきたり歌がかかるとたくさんの反応をしてくれた。

#### ②郡山市東部地域子育て支援センター





➤この子育て支援センターでは、定期的に季節行事やイベントを多く行っているため、普段から子育て支援センターを利用している幼児親子さんが来てくれ、人形劇に見入っていた。

### ③希望ヶ丘児童センター



➤小学生がたくさん観てくれて、クイズでは元気いっばいの大きな声で答えてくれた。学童の先生方もとても親しみのある先生で、子どもとともに楽しんでくれ、クイズの歌を覚えて学童でもやってみると言ってくれた。最後には、札幌のお母さん方手づくりのハンドパペットをプレゼントした。

### ④エムポリウム保育園



➤保育園につくやいなや多くの子どもたちが外で木の実を拾ったり、かけっこをしたりして元気に遊んでいた。上演中も大きな声で反応をしてくれた。

➤エムポリウム保育園ではここ1年半でやっと外遊びを解禁することができた、震災後すぐに庭の除染をしたが雨や屋根などをつたってすぐに汚染水が流れて戻ってきてしまったなど園長先生にたくさんのお話を伺うことができた。外で遊べない代わりに室内にターザンロープを設置したり、プログラムに空手を取り入れるなど体力が衰えない努力をされている。今回、ゆっくりと現地の方とお話する機会が少なかったため、今回のお話は福島の現状を知る一つとしてとても貴重な時間となった。

## 人形劇団野良犬+PLUS

### ①チャイルドハウスうねめ保育園



➤小さな子どもたちも歓声をあげながら集中して人形劇を観てくれた。

➤少人数での観劇であったため、距離も近くアットホームな雰囲気であった。札幌のお母さんたちが作った指人形をプレゼントすると、とても嬉しそうな表情を見せてくれた。

【地域交流事業①】

地域交流イベント『あそびの劇場』

～札幌のやまびこ座・こぐま座からあそびのキャラバン隊がやってくる～ in 郡山市

- 1) 日程 平成29年11月3日(金・祝) 10:30～15:00
- 2) 場所 郡山市ニコニコこども館(郡山市桑野1丁目2-3)
- 3) 参加劇団 人形劇団ぽっけ(2名)、カムバックサーモン(2名)、人形劇団野良犬+Plus(3名)、劇場スタッフ(1名)、札幌市児童会館スタッフ(4名)、郡山市現地スタッフ(5名)  
※NPO 法人みんなのあそび塾によきによき2名、ボランティア3名)
- 4) イベント参加者数 延べ392名

時間	プログラム内容	備考	参加者数
10:30 ～ 15:00	遊びのコーナー	工作会(よちよち歩くマリオネット工作、えっちらおっちらあおむしくん)、昔あそび、木のおもちや、折り紙、お絵かき	204名
11:00	ミニステージ① 「人形劇団ぽっけ」	人形劇 「だるまちゃんとてんぐちゃん」 パネルシアター 「コロちゃんはどこ？」	77名
12:30	読み語りタイム	大型絵本、ペープサートなど	20名
13:00	ミニステージ② 「トミー&人形劇団ぽっけ」	人形劇 「おかあさんまだかな？」 クイズ 「とびらのむこうはなんでしょう？」	21名
14:30	ミニステージ③ 「人形劇団野良犬+PLUS」	背負子人形劇「千匹オオカミ」 パネルシアター「カレーライス」	70名

5) 写真で見る公演及び調査記録







- 保育園公演で宣伝をしたところ、「もう一度観たい」と遊びに来てくれた子が何組かいた。
- 午前中から1日中遊んでくれた子どもたちもおり、アンケートでは「普段こどもとできないあそびができた」「また来年もお待ちしています」など親子で楽しみ、満足していただけた様子であった。
- 会場となったニコニコ館には、子どもたちが元気に遊べるスペースがいくつもあり。この日も各フロアにたくさんの親子が遊びにきていた。東日本大震災後、放射能の被害で外で遊べなくなった子どもたちのために施設をリニューアルし遊具なども充実させ、利用者が増加したとのことだった。体力が衰えないよう身体を使って遊べる遊具が設置されていた。楽しそうに元気に遊ぶ子どもたちの姿を微笑ましく思うと同時に、いまだ解決にはいたらない放射能被害を思うと複雑な気持ちがする。
- 今回も地元のNPO団体、ボランティアの方のお力を借りてイベントを実施することができた。これからも地元の方と協働することで、より地域の方に寄り添った活動を行っていきたい。

【人形浄瑠璃体験ワークショップ】

- 1) 日程 平成29年11月2日(木)～5日(日)
- 2) 場所 長期ワークショップ(全7回): 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ、日和田公民館
- 3) 参加劇団 八王子車人形西川古柳座(1名)、さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座(9名)
- 4) 実施記録

①復活! 高倉人形プロジェクト・人形浄瑠璃ワークショップ

月/日(曜)	時間	会場	内容	参加者数
11/2(木)	16:30	日和田公民館 郡山市日和田町字小堰 23-4	こども対象 2回目 三人遣いワークショップ	21名 (子21)
	19:00		おとな対象 2回目 三人遣いワークショップ	17名 (子2、 大人15)
11/3(金)	10:00		こども対象 3回目 三人遣いワークショップ	21名 (子21)
	14:00		おとな対象 3回目 三人遣いワークショップ	17名 (子2、 大人15)

②人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』

月/日(曜)	時間	会場	内容	参加者数
11/4(土)	13:30	福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ 福島市早稲町1番1号	『ふれアート』inふくしま 2回目	10名 (子10)
11/5(日)	10:00		『ふれアート』inふくしま 3回目	10名 (子10)

5) 写真で見る公演及び調査記録

復活! 高倉人形プロジェクト・人形浄瑠璃ワークショップ

①11/2(木) <2回目>・3(金) <3回目>



- 2回目となる今回は、人形の基本的な操作方法を復習。子どもたちは発表会で上演する立ち回りと、「さくらさくら」の曲で踊りの練習を行った。
- 小学校6年生の男子2名は、子どもの部から引き続き大人の部でも練習をしている。地域に伝わり今は衰退してしまった人形浄瑠璃を復活させ、地域を盛り上げようと始まったこの取り組みだが、継続した活動を行っていくためには子どもたちの力は欠かすことはできず、とても心強く感じる。

### 人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』in ふくしま

①11/4 (土) <2回目>・5 (日) <3回目>



- 今回は、基礎的な操作方法の練習のほかに、発表会で上演する演目「二人三番叟」「立ち回り」「釣女」などの稽古も行った。人形浄瑠璃に触れたことのない子どもたちも物怖じすることなく明るく積極的に取り組んでおり、終始賑やかで楽しいワークショップとなった。



【川俣高校アウトリーチ活動】

川俣高校3年生の選択授業「子どもの発達と保育」の中で、人形劇を通した子どもとの関わりをテーマに人形劇の指導を行う。

- 1) 日 時 平成29年10月31日(火) 13:20~15:10
- 2) 場 所 福島県立川俣高等学校(伊達郡川俣町飯坂字諏訪山1)
- 3) 指 導 矢吹英孝(やまびこ座館長)、指導補助:安田晃子(やまびこ座)
- 4) 生徒数 8名
- 5) 内 容 「どろぼう学校」を題材とした人形劇をつくり、最後には子どもたちの前で発表することを目標とする。



- 人形も完成し、学生たちが事前に描いていた背景のパネルなど大道具もセットし稽古を行った。
- 今年2年目となる事業であるが、生徒も先生も一緒になって楽しみながら取り組んでくれており、とても楽しく明るい雰囲気が進んでいる。これから稽古を重ねて最後には子どもたちの前で発表をするが、元気な学生たちの人形劇はきっと小さな子どもたちにも喜んでもらえると思う。
- 人形劇が持つ豊かな表現手法や、子どもたちとのコミュニケーションツールとしての人形劇など、人形劇の持つ魅力、可能性を若い世代にも伝えていきたい。

【福島応援伝統人形芝居公演 Part 1】

- 1) 日 程 平成29年11月1日(水)
- 2) 場 所 福島県立川俣高校を会場に人形浄瑠璃公演を実施。
- 3) 参加劇団 さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座(9名)
- 4) 公演記録

さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座

月/日(曜)	開演時間	会 場	公演プログラム	観客数
11/1(水)	13:00	福島県立川俣高等学校 大体育館 伊達郡川俣町飯坂字諏訪山1	人形浄瑠璃 「二人三番叟」 「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」 「祝い唄」	140名



5) 写真で見る公演及び調査記録  
さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座

①川俣高等学校



- 川俣高校でのアウトリーチ活動(人形劇指導)からのつながりにより、芸術鑑賞会での人形浄瑠璃公演が実現した。在校生の他、地域の方にも開放をし鑑賞をしていただいた。
- 人形劇指導を行っている学生8名はスタッフとして参加。準備や片付け、舞台の裏方などを手伝った。
- 公演の中では、三人遣いの体験コーナーも実施し、舞台の上で人形を遣う学生の姿に笑いが起こった。観るだけではなく実際に体験してもらうことで、若い方たちにも伝統芸能に興味・親しみを持ってもらいたい。